

# 第 2 次 四 條 畷 市 行 財 政 改 革 プ ラ ン

(平成 2 9 年度～令和 3 年度)

## 平成 3 0 年度進捗評価シート

- 区分 A) 全庁的取組み 市民生活への影響が大きいものなど、特に重要な項目 (半期に一度の評価)
- 区分 B) 課を超えた取組み 部を超える、超えないに関わらず、複数の課で歩調を合わせて取り組むべき項目 (四半期ごとの進捗)
- 区分 C) 各課の取組み それぞれの課が取り組む項目 (四半期ごとの進捗)

### ○進捗評価点 (平成 2 9 年度は年間評価点) について

取組期ごとの、計画に基づいた取組の進捗に対する評価  
 分母は3点×取組み期数、分子は取組み期ごとの評価点  
 (四半期ごとの満点は3点、年間通じての取組みであれば、3点×4期で12点が分母となる)

- ・進捗評価点のつけ方
- 3点・・・「計画通り」
- 2点・・・「ほぼ計画通り」
- 1点・・・「計画通りに進んでいない」
- 0点・・・「未着手」

進捗評価点□プラン全体)	402 /531	進捗率	76%
(方針 1)	194 /258	(方針 1)	75%
(方針 2)	87 /129	(方針 2)	67%
(方針 3)	121 /144	(方針 3)	84%

### ○目標評価点について

年度ごとに定めた目標値の達成度合いに対する評価 (具体的数値目標を定めているもののみ評価対象)  
 下記のとおり 3 点満点となる

- ・目標評価点のつけ方
- 3点・・・「目標値以上」
- 2点・・・「目標値の80%以上」
- 1点・・・「目標値の80%未満」
- 0点・・・「目標値の0%以下」

進捗評価点□プラン全体)	19 /24	進捗率	79%
(方針 1)	16 /21	(方針 1)	76%
(方針 2)	3 /3	(方針 2)	100%
(方針 3)	-	(方針 3)	-

○第2次四條躰市行財政改革プランの目標と各年度実績

		(参考)	実績	実績	(参考)	備 考
		H28	H29	H30	H33の目標値	
I	<b>実質収支黒字の堅持</b> ・実質収支額 ・実質収支比率	4.40億円 3.9%	3.74億円 3.2%	4.05億円 3.5%	4億円 3.9%	※平成28年度と同程度の額を維持が目標
II	<b>基金残高の保持</b> ・財政調整基金年度末残高 標準財政規模に対する率 ・公共施設整備基金年度末残高	18.7億円 16.5% 13.0億円	15.9億円 13.8% 15.5億円	16.0億円 13.7% 20.5億円	19億円 16.5% 25億円	※目標達成には毎年2.4億円の積み増しが必要(公共施設整備基金)
III	<b>経常収支比率の維持</b> (参考) ・全国平均 ・類似団体平均 ・府平均	93.5% 92.5% 93.8% 98.2%	94.0% 92.8% 94.0% 97.6%	95.1% - - -	93.5% - - -	※平成28年度決算と同程度の水準維持が目標
IV	<b>実質公債費比率の堅持</b> (参考) ・全国平均 ・類似団体平均 ・府平均	6.8% 6.9% 6.9% 6.1%	6.1% 6.4% 6.6% 5.0%	5.6% - - -	6.6% - - -	※平成28年度決算時から下回ることが目標

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。 (※平成28年度徴収率：96.5%)	目標	徴収率目標 96.9%	徴収率目標 97.3%	徴収率目標 97.7%	徴収率目標 98.1%	徴収率目標 98.5%				
		目標効果額	調定額の0.4%の額	調定額の0.8%の額	-	-	-				
		所管課	税務課及び徴収対策課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
今年度の実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
今年度の目標		①	計画	クレジット納付導入	その他納付方法の検討						
徴収率目標 97.3%	実績		クレジット納付導入	検討着手		その他納付方法の検討					
・徴収率向上のための 対応策を随時実施		②	計画	口座振替推進 (口座登録キャンペーン)						結果通知	
			実績	キャンペーン周知・広報						結果通知	
目標効果額		③	計画	実施							
			実績	実施							
実績効果額		④	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公売実施				返還	
			実績	予告送付	引継	滞納整理の実施				滞納整理の実施	返還 次年度選定
調定額の 0.8%の額		⑤	計画	計画策定		コール実施～		投函実施～		研修実施	
63,455千円	実績		計画策定	広報・募集	面接	コール実施	面接	投函実施	面接	研修未実施 コール投函実施	
進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	ほぼ計画通り	2
11 / 12	3 / 3	目標達成 (徴収率97.4%)	コメント	引き続き推進すること		引き続き推進すること		引き続き推進すること		研修の受講機会を確保すること	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	H31 (2019) 年度	H32 (2020) 年度	H33 (2021) 年度				
実施内容	徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。 (※平成28年度徴収率：76.9%)	目標	徴収率目標 77.2%	徴収率目標 79.2%	徴収率目標 81.2%	徴収率目標 83.2%	徴収率目標 85.2%				
		目標効果額	調定額の0.3%の額	調定額の2.3%の額	-	-	-				
所管課	保険年金課及び徴収対策課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者 健康・保険担当部長 健康福祉部長	評価者	副市長	評価周期 四半期ごと				
今年度の実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標		①	共同処理の実施（機構活用）	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公売実施			返還	
徴収率目標 79.2%			実績	予告送付	引継	滞納整理の実施	滞納整理の実施	公売準備	滞納整理の実施	滞納整理の実施	返還・次年度選定
・徴収率向上のための対応策を随時実施		②	現年徴収率向上の取組み強化	計画	計画策定		コール実施～		投函実施～		研修実施
			実績	計画策定	面接	コール実施	面接	投函実施	面接	研修未実施 コール投函実施	
		③	効果的な徴収方法の調査研究	計画	計画策定		調査実施・検証		事業案策定		実施準備
			実績	情報収集中	税クレジット納付の動向調査及び導入検討						
目標効果額		④		計画							
			実績								
調定額の2.3%の額		⑤		計画							
			実績								
進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	ほぼ計画通り	2
11 / 12	3 / 3		コメント	引き続き推進すること	収集した情報を活かして、新しい取組みを見出すこと	災害対応による影響の挽回に努めること	目標収納率達成をめざすこと				

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度						
実施内容	徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。 (※平成28年度徴収率 75・8%)	目標	徴収率目標 77.0%	徴収率目標 78.0%	徴収率目標 79.0%	徴収率目標 80.0%	徴収率目標 81.0%						
		目標効果額	調定額の1.2%の額	調定額の2.2%の額	-	-	-						
所管課	子ども政策課 (子ども政策課及び徴収対策課)	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者 健康福祉部長 (子ども未来部長)	評価者	副市長	評価周期 四半期ごと						
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		①	計画	システム改修		契約・調整テスト・広報		導入	効果検証			
	徴収率目標 78.0%			実績	業者との打合せ	納付書発注	契約	運用テスト実施 納付書発注 金融機関と契約	導入	実績等の状況確認			
	・徴収率向上のための対応策を随時実施		②	計画	抽出	送付		随時相談実施		再抽出	送付	随時相談実施	
				実績		催告送付	随時相談	随時相談実施		催告実施・随時相談、処分実施			
			③	計画			事案抽出		処分予告		処分実施		
				実績		納期変更	参加差押	催告実施・随時相談、処分実施		催告実施・随時相談、処分実施			
	目標効果額		④	計画			事案抽出・随時調査実施		予告・処分・調査を随時実施				
				実績	判明事案について滞納整理の実施		判明事案について滞納整理の実施		催告実施・随時相談、処分実施		催告実施・随時相談、処分実施		
	調定額の2.2%の額		2,396千円	⑤	計画	計画策定		コール実施～		投函実施～		研修実施	
進捗評価点		目標評価点	進捗評価		計画策定	広報・募集	面接	コール実施	面接	投函実施	面接	研修未実施 コール投函実施	
11 / 12		1 / 3	振り返り	目標未達成(77.1%) 災害対応により、下半期は各取組みに遅れが生じた。2名採用する予定であった投函業務員が辞退により1名体制となったことも進捗が遅れる要因となった。		計画通り		3		3		ほぼ計画通り 2	
11 / 12		1 / 3	コメント	引き続き推進すること		コンビニ収納は前倒しで実施。引き続き積極的に推進すること		引き続き推進すること		出納整理期間中は、現年度分の徴収率向上に特に注力すること			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	平成28年度末の滞納額（※平成28年度末滞納額：53万円）から滞納額を30%縮減する。	目標	目標残額 48万円	目標残額 43万円	目標残額 41万円	目標残額 39万円	目標残額 37万円					
		目標効果額	50千円	50千円	-	-	-					
		所管課	子ども政策課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	子ども政策課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと	
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
今年度の目標		①	分納分の確実な徴収	計画	状況確認							
目標残額 43万円	実績		状況確認	状況確認	状況確認	催告書送付	納付相談	状況確認				
・徴収率向上のための対応策を随時実施		②	納付勧奨	計画	納付勧奨					納付勧奨		
			実績					催告書送付	納付相談			
目標効果額		③	債権の精査	計画		私債権にかかる基本的知識醸成			債権の精査			
			実績		知識醸成	北河内債権の調査	調査取りまとめ	文献収集	私債権研修の受講	債権の精査	法務相談	弁護士との協議
50千円		④		計画								
40千円	実績											
進捗評価点		⑤	目標達成（残額41万円）前年度の効果額が目標を上回っていたため、目標残高は達成できた。今年度は、当該債権が公債権か私債権かの精査を中心に行い、公債権としたため、残額41万円から21万円の不能欠損処理を行い、年度末最終残高は20万円となっている。	進捗評価	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
11 / 12	3 / 3		振返り	コメント	私債権の知識醸成後、速やかに納付勧奨を行うこと	下半期に納付勧奨と債権の精査を確実にを行うこと	弁護士と連携して債権の精査及び納付勧奨を確実にを行うこと	次年度は徴収事務に注力すること				

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	H31 (2019) 年度	H32 (2020) 年度	H33 (2021) 年度					
実施内容	徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。 (※平成28年度徴収率：89.0%)	目標	徴収率目標 90.0%	徴収率目標 90.2%	徴収率目標 91.0%	徴収率目標 91.6%	徴収率目標 92.4%					
		目標効果額	調定額の1.0%の額	調定額の1.2%の額	-	-	-					
		所管課	地域教育課 (青少年育成課)	区分	C 各課の取組み	実施責任者	青少年育成課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと	
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
今年度の目標			①	納付勧奨	計画					過年度分催告		
徴収率目標 90.2%					実績			催告		催告	催告	
・徴収率向上のための対応策を随時実施			②	督促状の訪問交付 分納相談	計画	督促状の訪問交付						
				実績	補助執行規則の整備		内規の改正等、滞納者対策の検討		条例案策定	上程	督促状の交付・保護者説明	
目標効果額			③	利用料口座振替の勧奨	計画						口座勧奨	
				実績						規則改正		口座勧奨
実績効果額			④	電話対応(納付催促)	計画	電話対応						
				実績		未実施			電話対応			納付催促
調定額の1.2%の額			⑤		計画							
-1,726千円				実績								
進捗評価点		目標評価点	目標未達成(徴収率84.3%) 徴収対策課の助言のもと、催告書の文面精査、回数増により、これまで応答がなかった滞納者からの完済、分納相談があり、過年度分については効果があったが、全体では下がったため、次年度は改正した条例を生かし、徴収率を向上させたい。	進捗評価	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
10 / 12		0 / 3	振り返り	コメント	上半期中に計画策定と体制作りを行い、督促状の訪問交付、電話対応等を実施すること		滞納者に対する有効な対策を至急検討すること		条例案の策定を保護者に周知すること		この1年で徴収率向上対策が飛躍的に進んだ。整備した環境を最大限に活用すること。	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	各所管課の債権（公債権・私債権）の徴収一元化を検討する。	目標	・研修による職員の徴収能力の向上 ・債権回収検討会議の実施		・債権回収条例の制定 ・関係各課との調整		・調整が整い次第実施					
		目標効果額	検討後に設定	検討後に設定	-	-	-					
所管課	徴収対策課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと			
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
今年度の目標			①	府税OBによる市全体研修の実施	計画	計画策定	決定次第調整し、研修実施	アンケートの実施と集計				
・研修による職員の徴収能力の向上 ・債権回収検討会議の実施	年間実施項目	②	取り扱うべき債権額の調査（庁内調査）	計画	庁内調査			集計実施・研修参加				
			実績		庁内調査		庁内調査	庁内調査				
③	債権回収会議の実施	計画			計画	会議実施		会議実施				
		実績	事務局設定要綱改正		未実施	未実施	未実施		会議実施			
④	方向性の確認	計画					方向性確認					
		実績						任用弁護士との協議				
目標効果額	実績効果額	⑤	条例案素案策定	計画				素案策定				
検討後に設定	-	実績						未実施				
進捗評価点	目標評価点	振り返り	災害による本来業務の遅れを取り戻すためどうしても集中的に取り組みできなかった。他債権への取り組みについては、配置弁護士と相談しながら進めていく。	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2
7 / 12	-	コメント		予定通り進捗			出来るだけ早期に計画策定をすること		弁護士と連携して、債権回収条例制定を見据えた庁内検討を行うこと		債権回収条例の素案を早急に策定すること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度						
実施内容	債権回収業務の民間委託による徴収業務の効率化を検討する。	目標	・他市の状況調査	・費用対効果の検討 ・委託可能業務の検討		・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-						
所管課	徴収対策課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと				
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
	今年度の目標			計画	他市調査		集約						
	・費用対効果の検討 ・委託可能業務の検討	年間実施項目	① 他市状況調査の開始・集約	実績	担当設定	情報収集		他市調査	集約				
			② 委託業務の内容検討	計画				委託内容検討					
	目標効果額	実績効果額	検討後に設定	-	計画	実績	未実施	任用弁護士との協議					
								③ 費用対効果検討	計画			費用対効果検討	
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	災害による本来業務の遅れを取り戻すためどうしても、集中的に取り組みできなかった。他債権への取り組みについては、配置弁護士と相談しながら進める。	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	計画通りに進んでいない	1
	5 / 12	-			コメント	予定通り進捗	他市調査、集約を実施し、委託内容の検討を行うこと	弁護士の雇用を踏まえた費用対効果の検討を早急に行うこと	弁護士と協議をしながら委託対象業務の選定をすすめること				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	口座振替納付の推進による、徴収業務の効率化を図る。	目標	70.0%	72.0%	77.0%	81.0%	85.0%					
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる									
所管課	子ども政策課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	子ども政策課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	年間実施項目	① 口座振替納付の勧奨	計画	通知送付			通知送付				
	72.0%			実績	通知送付			通知送付				
	・口座振替納付の勧奨 ・規則改正の実施 ・保護者への通知		② 規則改正の実施	計画						規則改正		
				実績						規則改正		
	目標効果額		実績効果額	③ 保護者への通知	計画							広報・HPに掲載
					実績							3月広報・HPに掲載、各園に通知
	徴収率の向上に含まれる		-	④	計画							
					実績							
	進捗評価点		目標評価点	振り返り	⑤	計画						
実績												
12 / 12	3 / 3	目標達成(平成30年度3月末の講座登録率75.77%)規則改正を行い、原則口座振替としたことから、今後の実績を見つつ周知に努めていく。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	
			コメント	現在の口座登録率73.7%から上昇させること		予定通り進捗		予定通り進捗		口座振替登録数を確実に上昇させること		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度						
実施内容	クレジット納付の導入により、利便性の向上及び徴収業務の効率化を図る。	目標	・庁内及び関係機関との調整 ・対象税目（市税）の確定	・実施（市税）	・その他の徴収対象は、所管課ごとに、準備が整い次第実施								
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる										
所管課	税務課及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと				
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		年間実施項目	①	周知（当初課税・普通徴収）	計画	広報	納税通知書で周知					
				実績	広報	納税通知書で周知							
				②	実施（当初課税・普通徴収）	計画	契約	納税通知日毎に実施					
				実績	契約	納税通知日毎に実施							
				③	検証（随時発送分の納税通知書）	計画			検証		検証のまとめ		
				実績				検証		検証のまとめ(対応可能)			
				④	庁内調整（他課実施分）	計画			庁内調整（他課の実施分）				
				実績			実施不可能（公金収納代行サービスから新規導入の受入れをしない旨通知）						
	目標効果額	実績効果額		⑤		計画							
徴収率の向上に含まれる	33 千円	実績											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	他課への導入については、公金収納代行サービスの事情により次年度は見送りとなった。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	
12 /12	-	コメント	予定通りの進捗		他課への導入を見据えて、税の引き続き、他課への導入を見据えて、税の効果検証を行うこと		引き続き、他課への導入を見据えて、税の効果検証を行うこと		取組みは今年度で終了し、効果検証のみ引き続き行うこと。				

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	ペイジー等の導入による利便性の向上と徴収業務の効率化を検討する。	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果等の検討</li> <li>共通納税システムの動向把握</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施</li> </ul>						
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる								
所管課	税務課及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと		
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標		①	共通納税システムの動向把握		計画		国等の通知や説明会で動向の把握			
						実績		国等の通知による動向把握			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果等の検討</li> <li>共通納税システムの動向把握</li> </ul>		②	費用対効果等の検討		計画		国等の動向により必要となった時点から検討			
						実績		国等の動向把握及び電子収納の研究			
	目標効果額		③			計画					
						実績					
	徴収率の向上に含まれる		④			計画					
						実績					
	進捗評価点		⑤			計画					
				実績							
目標効果額	実績効果額	振り返り	共通納税システムの動向を注視しつつ別の電子収納について検討を行う。		進捗評価	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
11 / 12	-				コメント	当初出席予定であった説明会不参加のため	予定通りの進捗		引き続き電子収納について研究すること		具体化に向けた検討をすること

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	手続き等で必要となるものを除き、口座振替済通知書の送付を原則廃止し、コスト削減と業務効率化を図る。	目標	・市民への周知等の実施	・実施	<b>2018年度で取組み完了</b> 【目標達成のため】						
		目標効果額	-	513千円				-	-	-	
		所管課	税務課及び他所管課	区分				B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標		年間実施項目	① 納税通知書による周知 (個人住民税:6月・固定資産税及び軽自動車税:5月)	計画	周知						
・実施			② 実施 (個人住民税及び固定資産税:12月・軽自動車税:6月)	計画		実施			実施		
				実績		実施			実施		
目標効果額			実績効果額	513千円	596千円	③	計画				
						④	計画				
年間評価点		コメント	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3			
6 / 6		3 / 3	目標達成(原則廃止とすることができた)となったため、取組み完了。	コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗 今年度で取組み終了				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容			年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	消費税率の改定に併せて全庁的に受益者負担金等の見直しを検討する。		目標	・近隣市の動向把握	・庁内検討 ・見直し案の決定	・見直し後の料金適用 (10月～)						
			目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
所管課	財政課及び他所管課		区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと		
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標			①	庁内検討会の開催		計画	開催	開催	開催	開催	
	目標効果額		実績効果額		実績	開催		開催	開催			
	・庁内検討 ・見直し案の決定			②	コスト計算の実施		計画		計算			
					実績			計算	再計算			
				③	関係団体等との調整		計画			団体との調整		
					実績				未実施			
				④	新料金見直し案の仮決定と決定		計画			仮決定		決定
					実績				未実施		未実施	
	検討後に設定			⑤	予算案と条例改正案の上程		計画			予算・条例案策定		上程
実績								未実施				
進捗評価点	目標評価点	振り返り	当初は消費税率の引き上げ時期に合わせて改定を行う予定としていたが、手数料に関する法改正の可能性がでてきたことから、令和2年度実施に変更する。	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
7 / 12	-			コメント	新料金見直し案の仮決定を早急に行い、令和元年10月の改定に向けて、着実に推進すること			国の動向に留意しつつ、令和2年度実施に向けて準備を行うこと				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度		
実施内容	適正な受益者負担について検討する。	目標	・他市の状況調査	・課題抽出 ・大東市との調整	・医師会及び検診実施機関との調整が済み次第、実施についての検討				
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-		
所管課	保健センター	区分	C 各課の取組み	実施責任者	保健センター所長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標		① 大阪府の調査結果をもとに他市の状況把握及び課題の抽出	計画	大阪府の調査	調査結果確認、課題抽出	課題抽出		
	目標効果額	実績効果額			H29の大阪府調査の結果確認(課題抽出は未実施)		課題整理、改定案策定及び予算要求		
	・課題抽出 ・大東市との調整		② 料金改定による受診率への影響を分析	計画	経年の受診率等の分析		課題抽出		
				実績	前年度受診率の動向分析	未実施	効果的な検診と適正な受益者負担について検討	自己負担額変更案の決定	
	検討後に設定		③ 大東市との調整会議	計画		会議		会議	
				実績		未実施	大東市に通知		
	10 / 12		④	計画					
				実績					
	進捗評価点		⑤	計画					
実績									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	近隣市の状況から、検診費用の概ね2割を自己負担とする変更案を策定した。あわせて対象者、検査方法の見直しなども行い、がん検診の適性化を図った。	進捗評価	計画通り 3	計画通りに進んでいない 1	計画通り 3	計画通り 3	
10 / 12	-			コメント	予定通りの進捗	出来るだけ早く大東市との調整を行うこと	周知期間について確認すること	次年度10月実施をめざして、準備を進めること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度						
実施内容	適正な受益者負担について検討する。	目標	・他市の状況調査	・課題抽出 ・大東市との調整	・医師会及び検診実施機関との調整が済み次第、実施についての検討								
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-						
所管課	保健センター	区分	C 各課の取組み	実施責任者	保健センター所長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと				
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		① 予防接種5市会議(会議の中で他市状況の把握と課題抽出)	計画				会議				会議	
	・課題抽出 ・大東市との調整			実績				実施			実施		
			② 大東市との調整会議		計画				会議				会議
	目標効果額		③	実績				未実施		実施方法 時期検討			
				計画									
	実績効果額		④	実績								庁内合意	
				計画									
	検討後に設定		⑤	計画									
				実績									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	次年度10月の改定で庁内合意を得ることができた。今後は実施に向けた準備を着実に進めていきたい。			進捗評価		計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通り	3
5 / 12	-		コメント			出来るだけ早く大東市との調整を行うこと		令和元年度に着実に進展できるように課題抽出、研究を進めること		令和元年度に着実に進展できるように課題抽出、研究を進めること		次年度10月のがん検診自己負担額見直しと同時に実施できるように準備を進めること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	一般家庭ごみに係る処理手数料について検討する。	目標	・他市の状況調査	・粗大ごみ一部有料化に伴う減量効果についての検証	・有料化についての課題抽出 ・近隣市の状況把握	・検証結果等をもとに、一般ごみ有料化についての方向性を検討						
		目標効果額	-	-	-	-	-					
所管課	生活環境課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	生活環境課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		① 他市の意向調査(聞き取り調査)	計画					調査			
				実績					調査			
	・粗大ごみ一部有料化に伴う減量効果についての検証		② 粗大ごみ有料化に伴う減量効果の検証	計画							減量効果の検証	
				実績					減量効果の検証(中間)			減量効果の検証(年間)
			③	計画								
				実績								
			④	計画								
				実績								
	目標効果額	実績効果額	⑤	計画								
-	4,311千円	実績										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	粗大ごみ有料化によるごみの減量効果はあったので、次年度は一般家庭ごみ有料化を実施している他市の状況を研究したい。		進捗評価			計画通り		3	計画通り	3
6/6	-		コメント						予定通りの進捗		予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度			
実施内容	公共下水道整備区域内の浄化槽汚泥について、下水道への切り替え促進を図る観点から、有料化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・有料化についての検討	<b>本項目は2018年度で完了</b> 【2019年度以降は「水洗化の促進」を実施予定】					
		目標効果額	-	検討後に設定				-	-	-
		所管課	生活環境課及び下水道課	区分				B 課を超えた取組み	実施責任者	都市整備部長 (市民生活部長)
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
今年度の目標			① 条例改正等	計画	素案(案)の作成	庁内検討・素案作成	予算要求・条例案策定	上程		
平成30(2018)年度	・有料化についての検討	年間実施項目	①	実績		素案(案)作成	予算要求・条例案上程	業者・住民説明会		
			②	計画						
			②	実績						
			③	計画						
			③	実績						
目標効果額	実績効果額	④	計画							
④	実績									
検討後に設定	-	⑤	計画							
⑤	実績									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	計画通り、浄化槽汚泥の有料化を実施できた。次年度以降は下水道課に取組みを引き継ぎたい。	進捗評価	計画通りに進んでいない 1	ほぼ計画通り 2	計画通り 3	計画通り 3		
9 / 12				コメント	素案(案)未作成のため	素案にできるよう手続きをすすめること	周知及び住民説明を着実にを行うこと	予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	市役所の駐車場等、使用料を徴収していない施設の有料化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・有料化を検討すべき施設の抽出	・抽出した施設の費用対効果の検討	・費用対効果が見込める施設については、準備が整い次第実施						
		目標効果額	-	-	-	-	-					
所管課	総務課及びその他所管課 (施設再編室及びその他所管課)	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと			
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
今年度の目標			計画	他市事例の調査								
平成30(2018)年度	・有料化を検討すべき施設の抽出	年間実施項目	① 他市事例の研究	計画	他市事例の調査							
			実績	調査実施								
			② 対象施設の抽出と庁内調整	計画	対象施設の抽出と庁内調整							
			実績	施設抽出	庁内調整未実施				ヒアリング			
			③ 課題の整理	計画	課題の整理							
			実績	課題整理	課題の整理							
			④	計画								
			実績									
			⑤	計画								
			実績									
目標効果額	実績効果額											
-	-											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	採算が取れる施設が少なく、また、割引きを行う場合は、職員の仕事が増加するなど、課題点が多い。	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	計画通り	3
9 / 12	-			コメント	第1四半期に抽出した対象施設について、庁内調整を進めること		まずは、市の持ち出し無しに有料化が可能な施設から、具体化に向けた検証をはじめること					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容			年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度						
実施内容	新たな税外収入及び既存収入増加策について検討する。		目標	・他市事例の研究 ・本市で実施可能な項目を抽出	・費用対効果の検討 ・関係機関調整	・準備が整い次第実施								
			目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-						
所管課	財政課及び他所管課		区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと				
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		年間実施項目	①	実施可能項目の抽出及び精査	計画	項目精査							
					実績	近隣市から情報収集	実施可能項目についての検討							
	・費用対効果の検討 ・関係機関調整			②	費用対効果の検討	計画		効果検証						
					実績		未実施							
				③	関係機関調整	計画		庁内調整						
						実績		未実施						
	目標効果額			実績効果額	④	規程の整備	計画							規程の整備
							実績							
	検討後に設定			-	⑤		計画							
				実績										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	税外収入について、項目の抽出は行ったが、精査ができていない。次年度は、実施可能項目を見定め、具体化に向けて取り組みたい。	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	未着手	0		
2 / 12	-		コメント	まずは、実施可能項目の精査を行うこと		実施可能項目の精査を早急に行い巻き返しを図ること。								

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに即した活用を図るため、特定目的基金の整理、再編について検討する。	目標	・他市事例の研究	・庁内検討 ・対象基金の関係者等との調整	・条例改正等を実施	・整理、再編の実施					
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
所管課	財政課及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと		
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標			計画	他市事例の分析							
平成30(2018)年度	・庁内検討 ・対象基金の関係者等との調整	①	他市事例の分析	計画	他市事例の分析						
			実績	他市事例の分析							
		②	今後の基金の在り方を検討	計画		課題整理	庁内検討				
			実績		未実施		未実施				
		③	関係者等との調整	計画			関係者との調整				
実績	未実施										
④		計画									
目標効果額	実績効果額	計画									
⑤		計画									
進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	未着手	0
4 / 12	-	早急に実施し、巻き返しを図りたい。	コメント	早急に課題整理を行い、庁内検討、関係者との調整に取り組むこと			次年度に巻き返しを図ること。				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度			
実施内容	より効率的な基金の運用を図るため、基金運用方針の見直しを検討する。	目標	・他市事例の研究	・基金運用方針改定案の策定	2018年度で取組み完了 【目標達成のため】					
		目標効果額	-	-				-	-	
		所管課	財政課及び会計課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
今年度の目標			①	計画	検討					
・基金運用方針改定案の策定			②	実績	検討					
				計画	案策定			予算要求		
目標効果額			③	実績	案策定			予算要求		
				計画						
実績効果額			④	計画						
				実績						
進捗評価点			⑤	計画						
				実績						
目標評価点			振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3		
6 / 6				コメント	予定通り進捗		今後も、より効率的な運用について、研究を続けること			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度						
実施内容	技能労務職への行政職給与表(二)導入などを検討する。	目標	・他市事例の研究	・現業職のあり方の検討	・検討結果を踏まえた調整を行う。								
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-						
所管課	人事課及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと				
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		① 技能労務職の職のあり方検討	計画	技能労務職の職のあり方検討								
				実績	全庁的な協力体制について会議を実施・組合と覚書締結		未実施		未実施		未実施		
	・現業職のあり方の検討		②	計画									
				実績									
	目標効果額		③	計画									
				実績									
	実績効果額		④	計画									
				実績									
	検討後に設定		⑤	計画									
実績													
進捗評価点	目標評価点	振り返り	技能労務職の退職者により職員数が減っている現状、業務の選別により今後の採用方針等を決定する。	進捗評価	計画通り 3	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	コメント	予定通り進捗	取組みを前進させること	取組みを前進させること	取組みを前進させること
6 / 12	-												

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容			年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	新地方公会計制度において、現在実施中の期末一括仕分けから、より詳細かつ即応性のある日々仕訳の実施を検討する。			目標	・電算事業者との調整 ・課題抽出	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	・実施					
				目標効果額	-	-	-	-	-			
所管課	財政課及び会計課			区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと	
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標			①	電算事業者との調整	計画		調整				
					実績		調整					
	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成			②	システム契約	計画			契約			
					実績			依頼	契約			
				③	処理マニュアル作成	計画		マニュアル作成				
					実績				マニュアル作成			
	目標効果額			④	新年度予算に向けたシステム調整(科目設定等)	計画			システム調整			
					実績				システム調整			
	実績効果額			⑤	職員研修の実施	計画			研修			研修
実績									課内		簿記	システム
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標達成 システム導入やマニュアルの作成など、次年度実施に向けた環境整備を行った。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 / 12	-			コメント	事業者との調整に、計画時の想定より時間を要する見込みのため早めに着手		時間が係る調整を前倒ししたことにより、計画的な進行ができている		予定通り進捗		日々仕分けの実施を全職員に周知すること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度								
実施内容	より効率的な事業実施の指標とするため、複式簿記を用いた事業別コスト計算書の作成を行う。	目標	・電算事業者との調整 ・課題抽出	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	・実施										
		目標効果額	-	-	-	-	-								
所管課	財政課及び会計課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと						
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)					
今年度の目標			①	電算事業者との調整	計画	調整									
平成30(2018)年度	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	年間実施項目	①	電算事業者との調整	実績	調整									
					②	システム契約	計画			契約					
			③	処理マニュアル作成	実績		依頼	契約							
					④	新年度予算に向けたシステム調整(科目設定等)	計画		マニュアル作成						
			目標効果額	実績効果額	-	-	実績			システム調整					
							⑤	職員研修の実施	計画			研修			研修
			進捗評価点	目標評価点	振返り	目標達成 システム導入やマニュアルの作成など、次年度実施に向けた環境整備を行った。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通り	3
							コメント	事業者との調整に、計画時の想定より時間を要する見込みのため早めに着手	時間が係る調整を前倒ししたことにより、計画的な進行ができている	年度内に研修を行うこと	事業別コスト計算の円滑な実施に向け、準備を着実に実行すること				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	電子入札についての調査、研究及び試行を実施する。	目標	・庁内現状把握	・他市事例の研究 ・予算措置 ・契約 ・電子入札システム業者決定	2018年度で取組み終了 【費用対効果が見合わないため】							
		目標効果額	-	-					-	-	-	
		所管課	総務課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	総務課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと	
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
今年度の目標			①	他市事例の研究								
平成30(2018)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市事例の研究</li> <li>・予算措置</li> <li>・契約</li> <li>・電子入札システム業者決定</li> </ul>	年間実施項目	①	他市事例の研究	計画	他市事例の研究						
			実績	他市事例の研究								
			②	地元業者への説明と意見聴取	計画			業者への説明				
			実績	未着手								
			③	システム導入可能性についての検討	計画			検討				
			実績	検討								
			④	予算措置(債務負担行為の設定及び当初予算の要求)	計画				補正及び当初予算要求			
			実績	予算要求見送り								
			⑤	大阪地域市町村共同利用電子入札システムへの参加	計画						契約	
			実績	未実施								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	他市の状況と、本市の状況を照らし合わせて検討した結果、費用対効果が見合わない判断した。(現状入札件数が年間40件程度であるが、480件程になると費用対効果が見込まれる)	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
6 / 12	-			コメント	予定通りの進捗		電子化推進の観点も併せた検討を行うこと		費用対効果の検証結果から取組継続か否か結論をだすこと。		電子入札の導入はしないものとして、取組みを終了する。	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	入札の多様化に伴い、入札方法選択基準の策定を行う。	目標	・ 庁内現状把握 ・ 他市事例の研究	・ 選択基準の策定に係る庁内調整	・ 入札方法選択基準の策定							
		目標効果額	-	-	-	-	-					
所管課	総務課及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと			
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	プロポーザル指針の見直し	計画	指針の見直し						
				実績	指針の見直し							
	・ 選択基準の策定に係る庁内調整		②	総合評価落札方式とプロポーザル方式の指針に係る庁内調整	計画	指針案の検討		指針に係る庁内調整				
				実績	指針案の検討		未実施					
			③	選択基準の策定に係る庁内調整	計画				策定に係る庁内調整			
					実績				未実施			
			④		計画							
	目標効果額 実績効果額			実績								
			⑤		計画							
- -		実績										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	より適正な入札方法とするため、給食調理業務等についてプロポーザルから入札に変更する調整を行った。	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	未着手	0	未着手	0
4 / 12	-			コメント	指針にかかる庁内調整を早急に行うこと			次年度に入札方法選択基準を策定できるよう巻き返しを図ること。				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度		
実施内容	電気設備、消防設備、空調設備など、施設保守にかかる業務の包括委託化を検討する。	目標	・ 庁内現状把握 ・ 他市事例の研究	・ 実施に向けての庁内調整	施設の契約更新の時期に合わせて、可能なものから順次実施				
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-		
所管課	総務課 (施設再編室)	区分	C 各課の取組み	実施責任者	総務課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標		① 一括委託対象業務の選定	計画	対象業務の選定				
	目標効果額	実績効果額		実績	対象業務の選定				
	・ 実施に向けての庁内調整		② 庁内調整	計画		庁内調整			
				実績		未着手	庁内調整		
			③ 業者調整	計画			業者調整		
				実績			業者調整		
			④ 仕様書案作成	計画			仕様書案作成		
				実績			委託効果の検証・実施判断		
	検討後に設定		⑤	計画					
進捗評価点	目標評価点	実績							
8 / 12	-	振り返り	包括委託では、別途マネジメント料が発生するため、効果額が期待できないことがわかった。このため、成果連動型民間委託契約という新たな方法により、効果検証を行い、その結果をもって今後判断していく。	進捗評価	計画通りに進んでいない 1	計画通り 3	計画通り 3	計画通りに進んでいない 1	
			コメント	指定管理施設を含む調整を行うこと	仕様書案の作成に向けて取り組むこと	費用対効果の検討結果を踏まえ、コスト削減を見込める方法を模索すること	検討結果を踏まえ、新たな方法での包括委託を模索すること		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	平成30年度の電力調達契約の更改に伴い、ガスの調達も併せて実施する。	目標	・調達に係る他市事例の研究	・入札の実施								
		目標効果額	-	2,700千円	-	-	-					
所管課	総務課 (施設再編室)	区分	C 各課の取組み	実施責任者	総務課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
平成30 (2018) 年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)					
	今年度の目標		①	仕様書案の検討	計画	仕様書案の検討						
	・入札の実施	年間実施項目	②	入札の実施	計画			実施				
			実績	仕様書案の検討				仕様書案の検討 (低圧、ガス)	各施設の現契約及び使用状況の調査			
			③		計画							
			実績			電力のみ実施						
	④		計画									
	実績											
	⑤		計画									
	実績											
目標効果額	実績効果額	進捗評価	目標評価点	振り返り	進捗評価	目標評価点	コメント					
2,700千円	10,510千円	7 / 12	3 / 3	高圧電力のみ入札を実施し、11月より新契約に切替えた。低圧とガスについては、使用量等のデータ把握に遅れが生じたため、入札実施には至らなかった。	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1
					ガス等の調達に向け、取組みを進めること		今年度中に、低圧、ガスの入札を行うこと		低圧、ガスの入札準備を着実にを行うこと		成果連動型民間委託契約の中での実施も検討すること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度							
実施内容	指定管理者制度の未実施施設に対する導入の検討及び複数施設の一括指定管理など、指定管理者制度のあり方について検討する。	目標	・関係各課と指定管理制度の在り方を検討	・公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画をふまえて検討		・検討項目の内容を随時実施								
		目標効果額	-	-	-	-	-							
所管課	総務課及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと					
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)				
今年度の目標			①	他団体の制度運用状況の確認	計画	他市状況把握								
・公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画をふまえて検討			②	本市における制度運用の方向性の検討	実績	他市状況把握								
					計画			制度運用の検討						
目標効果額			実績効果額	③	関係各課と指定管理者制度の在り方を検討	実績	制度運用の検討							
						計画							庁内調整	
進捗評価点			目標評価点	④		計画								
						実績								
9 / 12			-	⑤		計画								
						実績								
進捗評価点			目標評価点	振り返り	制度運用について検討の結果、指定管理対象施設の拡大は現状の施設配置のもとでは困難であるため、来年度策定予定の個別施設計画をふまえて検討する。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	未着手	0
9 / 12			-			コメント	予定通りの進捗		次年度は具体的な検討をはじめること(個別施設計画策定後)					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度						
実施内容	給与の支払い等に係る計算事務の外部委託化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討	2018年度で取組み終了 【費用対効果が見合わないため】								
		目標効果額	-	検討後に設定					-	-	-		
		所管課	人事課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	人事課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと		
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
今年度の目標			計画	調査・研究									
・費用対効果の検討			① 他市事例の研究 (継続)	実績	調査								
			② 給与システムの移行及び出勤・人事評価システムの導入	計画	仕様書作成及び庁内調整	プロポ・契約	システム移行・使用方法の職員周知				運用開始		
・費用対効果の検討			③ 費用対効果の検討	実績	仕様書作成及び庁内調整				契約	システム移行		テスト	運用
				計画								検討開始	
目標効果額			実績効果額	④	計画								
					実績								費用対効果の検討
検討後に設定			-	⑤	計画								
					実績								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1		
7 / 12	-		コメント	予定通りの進捗	他市事例の確認等費用対効果の検討を行うこと		費用対効果の検証結果から取組継続か否か結論をだすこと。		費用対効果が見合わないため、取組みを終了する				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	庁舎管理業務員について、業務委託化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・課題抽出 ・庁内調整	・実施に向けた調整、協議、規定整備等、準備が整い次第実施							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-					
所管課	人事課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	人事課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		① 庁舎管理業務員のあり方検討	計画	他市事例の調査・研究、庁舎管理・時間外受付業務のあり方検討							
				実績	庁舎業務員の業務洗い出し				課題抽出中			他市事例検討
	・課題抽出 ・庁内調整		② 庁内調整	計画								庁内調整
				実績								未実施
	目標効果額 実績効果額		③	計画								
				実績								
	検討後に設定		④	計画								
				実績								
	進捗評価点 目標評価点		⑤	計画								
実績												
進捗評価点		目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1
9 / 12		-	他市事例を検討したが、婚姻、死亡届等の受付業務の課題等、総合的な費用対効果が見いだせないと考える。	コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		課題整理を行うこと		課題整理、費用対効果の検証を行うこと	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	草刈及びスクリーン清掃業務の委託化を検討する。	目標	・実施に向けた検討	・費用対効果の検討	・現業職のあり方の検討を踏まえ、実施に向けた調整をはじめ、準備が整い次第実施							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-					
所管課	人事課及び他所管課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	人事課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		① 技能労務職の職のあり方検討(継続)	計画	技能労務職の職のあり方検討							
	・費用対効果の検討			実績	全庁的な協力体制について会議を実施・組合と覚書を締結				未実施			
			② 費用対効果の検討	計画			費用対効果の検討					
				実績			未実施					
			③	計画								
				実績								
			④	計画								
				実績								
	目標効果額	実績効果額	⑤	計画								
検討後に設定	-	実績										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り 3		計画通りに進んでいない 1		計画通りに進んでいない 1		計画通りに進んでいない 1		
6 / 12	-		コメント	予定通りの進捗		取組みを前進させること		取組みを前進させること		取組みを前進させること		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度		
実施内容	総務省が平成21年に「地方公共団体における事務の共同処理の改革に関する研究会」から提出された報告書において、専門性が高いものや広域的に実施することが施策目的の達成に有効であると考えられる（監査、会計管理及び出納、保健福祉など）とされたものについて広域化共同処理の検討を行う。	目標	・他市事例の研究 ・対象事例の洗い出し	・近隣市の状況と意向の把握 ・対象業務のうち可能性があるものを抽出	本項目は2018年度で終了 【2019年度以降は「事務事業等にかかる広域連携の推進」を実施予定】				
		目標効果額	-	-					-
所管課	企画調整課及びその他所管課 （政策推進課及びその他所管課）	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	政策企画部長 （総合政策部長）	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
平成30（2018）年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)	
	今年度の目標		①	北河内都市連絡会及びブロック会議を活用した意向把握	計画		意向把握		
				実績		意向把握		ブロック会議	
	・近隣市の状況と意向の把握 ・対象業務のうち可能性があるものを抽出		②	対象業務の抽出（庁内要望等）	計画		抽出	優先順位決定	
				実績		未実施	寝屋川市との連携協定締結	研究会	
			③		計画				
				実績					
			④		計画				
	目標効果額	実績効果額		実績					
			⑤		計画				
		実績							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	ブロック会議を通じ、共同調達に向けた対象事例の洗い出しは一定行われたが、仕様等の違いから、実施できる状況には至っていない。 施設の共同利用に向けた寝屋川市との研究についても、令和元年度以降の着手となる見込みである。	進捗評価	ほぼ計画通り 2		計画通り 3	計画通り 3	
8 / 9	-		今後は寝屋川市との2市間で協議をすすめること 協定に基づき、寝屋川市との連携を進めること 次年度以降は、大阪府及び近隣市と共に、広域連携可能な事務事業等を模索すること。	コメント					

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度						
実施内容	下水道事業における処理区統合を推進する。	目標	・処理区統合に係る管渠施設の整備				・処理区統合						
		目標効果額	-	-	-	-	-						
所管課	下水道課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	下水道課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと				
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		①	管敷設工(水管橋含む)	計画	設計・協議		施工					
	・処理区統合に係る管渠施設の整備			実績	設計・協議				施行				
	目標効果額		実績効果額	②	計画								
					実績								
	-		-	③	計画								
					実績								
	進捗評価点		目標評価点	④	計画								
					実績								
	11 / 12		-	⑤	計画								
実績													
進捗評価		目標評価	振返り	国、府間の協議に時間がかかり、進捗が遅れる場面もあったが、計画していた区間の下水道管敷設工事を年度内に終えることができた。	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3	
コメント				市は協議をしたが、府と国の調整が遅れている。			工期は短くなるが、年度内に工事を完了させること		年度内に工事を完了させること		次年度以降のポンプ場化を円滑に進めること		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度								
実施内容	し尿収集処理の効率的な運用方法などを広域化を視野に入れ、検討を行う。	目標	・他市事例の研究		・近隣市の状況把握 ・意向の確認		・し尿広域化についての府、近隣市との検討会の実施								
		目標効果額	-	-	-	-	-								
所管課	生活環境課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	生活環境課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと						
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)					
今年度の目標			①	汚水処理施設共同整備事業(MICS)の調査研究		実施事例及び制度の研究		庁内調整・課題の抽出							
#REF!			②	関係者との協議調整		庁内調整		取組終了(大阪府主導で広域化を検討)							
				計画					関係者との協議調整						
#REF!			③	関係者との協議調整		関係者協議		国の通知を受けた府の動向を把握		大阪府の協議体で協議調整					
				計画											
目標効果額			④	関係者との協議調整											
				実績											
-			⑤	関係者との協議調整											
				計画											
進捗評価点			目標評価点	当初は近隣市で広域化の検討を行う予定であったが、府が協議体を立ち上げたことにより、主体がそちらに移行したため、次年度からは目標を変更(し尿希釈処理施設の共同設置をめざし、大阪府、近隣市と検討)する。		進捗評価		計画通り		3		計画通り		3	
				12 / 12		-		コメント		予定通りの進捗		府の協議体を活用し、積極的に推進すること		引き続き府の協議体を活用し、推進すること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度			
実施内容	新規の市単独事業について、原則、あらかじめ終了時期の設定を行う。	目標	・他市事例の研究	・運用方法の検討・決定	<b>2018年度で取組み完了</b> 【目標達成のため】					
		目標効果額	-	検討後に設定				-	-	-
		所管課	財政課及び企画調整課 (財政課及び政策推進課)	区分				B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
今年度の目標			①	運用方法の検討・決定	計画	運用ルールの決定				
・運用方法の検討・決定			②	運用ルールに基づいた当初予算要求	実績	運用ルール策定に向けての検討				
					計画			予算要求		
目標効果額			実績効果額	③	計画					
					実績			予算要求		
検討後に設定			-	④	計画					
					実績					
進捗評価点			目標評価点	振返り	計画	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	
					実績					
5 / 6			-		コメント		各種調整のうえ、早急に運用ルールを策定すること		予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	定期的に事務事業評価を実施し、業務の棚卸等を行う。	目標	・他市事例の研究 ・事務ヒアリング（棚卸し）	・事業評価の仕組みの検討・決定	2018年度で取組み完了 【部長マニフェストの作成公表、働き方改革PT,ICT・IoT活用指針等で実施】						
		目標効果額	-	検討後に設定				-	-	-	
所管課	企画調整課及び財政課 (政策推進課及び財政課)	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	政策企画部長 (総合政策部長)	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと		
平成30 (2018) 年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標		①	事業評価の仕組みの検討、決定	計画	評価方法の検討、決定	調書作成				
	・事業評価の仕組みの検討・決定			実績	部長マニフェストの作成	第1四半期で取組み終了					
			②	計画							
			実績								
			③	計画							
			実績								
			④	計画							
			実績								
			⑤	計画							
実績											
目標効果額	実績効果額										
検討後に設定	-										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	部長マニフェストの作成及び公表をもって行うものとしたため、第1四半期で取組みを終了した。	進捗評価	計画通り	3					
3 / 3	-			コメント	予定通りの進捗	取組み内容を変更して第1四半期に実施済み					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度			
実施内容	集中して事務処理を行える環境を整えることで、業務処理効率の向上を図る。	目標	・他市事例の研究	・課題抽出 ・庁内検討	・随時実施					
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-			
所管課	人事課及び総務課 (施設再編室及び人事課)	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと	
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
今年度の目標			計画	仕様書作成及び庁内調整	プロポ・契約	システム移行・使用方法の職員通知	運用開始			
平成30(2018)年度	・課題抽出 ・庁内検討	① 給与システムの移行及び出勤・人事評価システムの導入	実績	仕様書作成及び庁内調整		契約	システム移行	調整、職員研修	運用	
			計画	業者と調整	契約	職員アンケート及びアクションプランの実施				
		② 組織改善アンケートと改善アクションの実施	実績	業者と調整		契約	一回目アンケート実施 結果報告	課題抽出	2回目実施	結果報告
		③ 庁内検討	計画	組織化	検討	予算要求	導入に向けた準備			
		④	実績	組織化準備		未実施	研修・協議	課題整理		
		⑤	計画	※組織の現状を把握・分析を行うためのシステム。 システムを利用した組織改善アンケート等により、組織の課題抽出と改善に向けて取組むべきことを把握することができる。						
		⑤	実績							
		目標効果額	実績効果額	計画						
		検討後に設定	-	計画						
		進捗評価点	目標評価点	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
9 / 12	-	コメント	早急に「働き方改革PT」を組織化し、下半期の取組みを円滑に進めること。			次年度は集中して事務を行える環境造りの構築に取り組むこと				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容			年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度			
実施内容	全庁的な ICT化の推進と機能性の向上を図る。		目標	・他市事例の研究 ・課題抽出	・随時実施	2018年度で取組み完了 【2019年度以降は策定した指針で進捗管理】					
			目標効果額	-	-					-	-
			所管課	企画調整課及びその他所管課 (総務課及びその他所管課)	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		年間実施項目	①	各課のICT化に対する技術的支援及び助言の実施	計画	ICT化に対する技術的支援及び助言				
				実績	ICT化に対する技術的支援及び助言						
	・随時実施			②	庁内システムの全容把握(ヒアリングの実施等)	計画	ヒアリングの実施等				
				実績	庁内システムの全容把握						
	目標効果額			③	ICT化のロードマップフレームの詳細設計	計画	ICT化ロードマップの詳細設計				
				実績	地域IoT計画策定事業取組						
	実績効果額			④	トライアルの実施、評価、導入検討、予算要求	計画	トライアルの実施	評価・導入検討	予算要求		
				実績	トライアルの実施	評価・導入検討・予算要求			予算要求		
	-			⑤	導入に向けての準備(導入する場合)	計画					導入に向けての準備
						実績					
	進捗評価点	目標評価点		振り返り	PTメンバーの積極的な取組により、計画どおり進められた。ICT、IoT活用指針策定。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り
12 / 12	-				コメント	予定通りの進捗			予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容			年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	ICTを含めた窓口業務効率化を検討する。		目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・課題抽出	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施						
			目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
			所管課	市民課、田原支所及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	市民生活部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標		①	同規模市への調査	計画	同規模市への調査						
	・費用対効果の検討 ・課題抽出			実績	調査市の選定		視察先について庁内検討				泉大津市へ視察	
			②	費用対効果の検討	計画		費用対効果の検討					
				実績		コンビニ交付見積書徴収						
			③	課題抽出	計画				課題抽出			
				実績				未実施				
			④	コンビニ交付等動向調査	計画	コンビニ交付等動向調査						
	目標効果額	実績効果額		実績	大阪府内の動向把握		府コンビニ交付説明会等に参加		単独導入を選択・予算要求		マイナンバーカード普及啓発	
	検討後に設定		⑤		計画							
		実績										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	ほぼ計画通り 2		ほぼ計画通り 2		ほぼ計画通り 2		計画通り 3		
9 / 12	-		コメント	調査未実施のため		コンビニ交付の費用対効果の検討を行うこと		コンビニ交付以外のICT化についても研究すること		コンビニ交付実施準備及びマイナンバーカード普及に取組むこと		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度					
実施内容	起案書のフォーマット統一化による電子起案の推進と現存する紙文書の電子化を行う。	目標	・廃棄文書の選別と廃棄	・起案文書の統一 ・フォーマットの作成及び運用開始	・既存文書電子化に係る他市事例の検討	準備が整い次第実施						
		目標効果額	-	-	-	-	-					
所管課	総務課及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと			
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
平成30(2018)年度	今年度の目標		年間実施項目	① 簿冊管理情報のリスト化	計画	簿冊管理状況のリスト化						
	・起案文書の統一 ・フォーマットの作成及び運用開始	② 廃棄文書、保存期間延長文書の振り分け		実績	未着手							
				計画					文書の振り分け			
	③ 簿冊管理情報のシステム登録	実績		文書の振り分け								
		計画									簿冊管理情報のシステム登録	
	④ 文書事務ルールの検証及び文書ルールの明確化	実績		未着手								
		計画		文書ルールの検証と明確化								
	目標効果額	実績効果額		計画	文書事務ルールの検証							
	-	-		⑤ 職員研修の実施	計画		研修内容の検討	実施				
				実績	研修内容の検討		実施					
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	
6 / 12	-	書庫整理については、各課の協力を得ることが難しく、計画どおりの進捗には至らなかった。	コメント	再度、各課の協力を要請し、まずは南小書庫の文書の振り分けを行い、リスト化を進めること			簿冊管理状況のリスト化を進められるよう、文書の振り分けを早期に終了させること					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	タブレット端末の導入による業務の効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・課題抽出	・準備が整い次第実施						
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
		所管課	企画調整課及び総務課 (総務課)	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	政策企画部長 (総務部長)	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標			①	セキュリティ面の課題抽出及び整理	計画	課題抽出・検討					
・費用対効果の検討 ・課題抽出	年間実施項目	②	基盤整備に係る費用等の算出及び導入についての検討	計画	仕様検討	費用算出	導入についての検討				
				実績		ICT・P立上	導入についての検討	予算要求			
目標効果額	実績効果額	③		計画							
				実績							
検討後に設定	-	④		計画							
				実績							
進捗評価点	目標評価点	振返り	ICT化指針の策定に併せて検討を行ったところである。導入によってペーパーレス化が進む等、業務効率化に寄与するものと考えている。	進捗評価	ほぼ計画通り		2	計画通り	3	計画通り	3
				コメント	予算要求時までに方向性は決定すること		予定通りの進捗		最大限に活用できるよう準備を進めること		
8 / 9	-										

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	H31 (2019) 年度	H32 (2020) 年度	H33 (2021) 年度						
実施内容	議事録作成システムまたはアプリ導入による、業務の効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・試験導入の実施 ・課題抽出	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施								
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-						
		所管課	総務課及び議会事務局	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと		
今年度の実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
今年度の目標			① 他のアプリの機能確認	計画	機能確認								
平成30(2018)年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果の検討</li> <li>試験導入の実施</li> <li>課題抽出</li> </ul>	年間実施項目	② 試験導入に係る仕様書案の検討	計画		案の検討							
			③ 業者決定	計画		業者決定							
			④ 導入と効果検証	計画			導入と効果検証						
			⑤ 課題抽出	計画			課題抽出						
			目標効果額	実績効果額	計画		デモによる効果検証	デモによる効果検証					
			-	-	実績		課題抽出						
			進捗評価点	目標評価点	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2
			7 / 12	-	コメント	予定通りの進捗7月にデモを実施すること		費用対効果を見極め、業者決定を行うこと		システムを最大限に活用できるルールづくりをすること		全庁的な活用を推進すること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	オンライン申請導入による、業務の効率化を検討する。	目標	・現状把握	・費用対効果の検討 ・費用対効果が見込める場合は、実施に向けての調整	2018年度で取組み終了 【費用対効果が見込めないため】						
		目標効果額	-	検討後に設定				-	-	-	
所管課	税務課及び他所管課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	税務課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと		
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
今年度の目標			① 現状分析(他課含)	計画		現状分析					
・費用対効果の検討 ・費用対効果が見込める場合は、実施に向けての調整			② 費用対効果の検討と予算要求(費用対効果が見込める場合)	実績		現状分析					
				計画		費用対効果の検討	予算要求				
目標効果額			実績効果額	実績		費用対効果の検討	予算要求				
				計画							
検討後に設定			⑤	計画							
				実績							
進捗評価点	目標評価点	振り返り	費用対効果の検証を行い、予算要求を行ったが、人件費の削減効果より、必要となる経費の方が大きいとして、予算化されなかったため、本取組みは終了する。また、別件での法務局への出張が必須となっており、その際に登記申請を行えば費用をかけず効率よく業務実施可。	進捗評価		計画通り	3	計画通り	3		
6 /6	-			コメント		予定通りの進捗		予定通りの進捗			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

			方針3	④・7	項目	出退勤システムの導入							
5年間の実施項目及び内容			年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	H31(2019)年度	H32(2020)年度	H33(2021)年度					
実施内容	出退勤システムを導入し、業務の効率化を検討する。		目標	・他市事例の研究 ・費用対効果の検討 ・導入に向けた課題抽出	・予算措置 ・業者決定 ・実施	2018年度で取組み完了 【目標達成のため】							
			目標効果額	-	-						-	-	-
所管課	人事課		区分	C 各課の取組み	実施責任者	人事課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
今年度の目標			①	給与システムの移行及び出退勤・人事評価システムの導入	計画	仕様書作成及び庁内調整		プロポ・契約		システム移行・使用方法の職員周知		運用開始	
・予算措置 ・業者決定 ・実施			年間実施項目	①	実績	仕様書作成及び庁内調整		契約		システム移行		テスト	運用
					計画								
目標効果額			実績効果額	②	計画								
					実績								
-			-	③	計画								
					実績								
進捗評価点			目標評価点	④	計画								
					実績								
11/12			-	⑤	計画								
					実績								
進捗評価点			目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
11/12			-	システム移行実施、今年度3月から運用開始	コメント	予定通りの進捗		システム移行、職員への周知を円滑に行うこと		1月に職員周知を行うこと		円滑な運用に留意すること	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度				
実施内容	市の調査や統計データなどを民間に公表し、利活用を促進する。	目標	・他市事例の研究	・課題抽出 ・利用ルールの策定	・所管課の準備が整い次第、順次実施						
		目標効果額	-	-				-	-	-	
所管課	企画調整課及び他所管課 (魅力創造室及び他所管課)	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと		
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標		①	計画	目的・意義確認		課題抽出				
	・課題抽出 ・利用ルールの策定			実績	目的・意義確認		課題抽出				
			②	計画						ルールの検討	ルールの策定
	③	実績							ルールの検討	データ棚卸し	
		④	計画								
	⑤		実績								
		目標効果額	実績効果額	計画							
	-	-	実績								
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	ほぼ計画通り
11 / 12	-	利用ルールの策定には至らなかったが、市民にデータを開放するという目的のもと、ルール策定の基礎となる庁内データの棚卸しに着手した。	コメント	課題抽出を行い、下半期のルール策定につなげること			できるだけ早期に利用ルールの策定に着手すること				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度						
実施内容	施設予約システムの導入による業務効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究 ・導入に向けた課題抽出	・費用対効果の検討	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第、順次実施								
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-						
所管課	地域教育課及びその他所管課 (生涯学習推進課及びその他所管課)	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	教育部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと				
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
今年度の目標			①	庁内検討会の開催		計画	開催	開催	開催	開催			
・費用対効果の検討	年間実施項目	②	施設別現状維持及びシステム導入必要性調査		計画	施設別調査							
			実績	調査案検討						システム導入意向調査(市役所)			
検討後に設定	実績効果額	③	先進事例調査及び費用対効果の検討		計画	調査・検討							
			実績			調査・検討			他市における導入効果の把握				
検討後に設定	実績効果額	④	導入の有無の検討		計画			仮決定			決定		
			実績					検討		仮決定	決定		
進捗評価点	目標評価点	⑤	予算案と条例改正案の上程(導入の場合)		計画				予算・条例案策定		上程		
			実績						未実施		予算案策定		
10 / 12	-	振り返り	予算要求を行うなど、次年度実施に向けた準備を行った。今後、具体的な仕様の検討を行う必要があるが、条例変更の必要はない。導入時に使用に併せた規則の改正を行う予定である。		進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通り	3
		コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		第4四半期は課題解決に向けた検討を行うこと		次年度実施に向けた準備を確実にすること				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	H 3 1 (2019) 年度	H 3 2 (2020) 年度	H 3 3 (2021) 年度			
実施内容	イベント実施及び参加、協力に係る基本方針を策定する。	目標	・他市事例の研究	・基本方針案の検討・策定	2018年度で取組み完了 【目標達成のため】					
		目標効果額	-	検討後に設定				-	-	-
		所管課	財政課及び他所管課	区分				A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長
今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
今年度の目標			①	計画	年内調整					
・基本方針案の検討・策定	年間実施項目	②	計画	年内調整			基本方針案の検討	基本方針案の策定		
			実績	基本方針案の検討			基本方針の策定			
目標効果額	実績効果額	③	計画							
			実績							
検討後に設定	-	④	計画							
			実績							
進捗評価点	目標評価点	⑤	計画							
			実績							
12 / 12	-	振り返り	方針策定により目標達成 今後は方針に基づき担当課が適宜対応。	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3		
			コメント	第2四半期については前倒して「基本方針案の検討」を実施。引き続き計画的に推進すること			予定通りの進捗			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容			年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	H31 (2019) 年度	H32 (2020) 年度	H33 (2021) 年度		
実施内容	団体事務局事務に係る基本方針を策定する。		目標	・他市事例の研究	・基本方針案の検討 ・策定	2018年度で取組み完了 【目標達成のため】				
			目標効果額	-	検討後に設定					-
			所管課	財政課及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部
平成30(2018)年度	今年度の実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		年間実施項目	① 庁内調整	計画	庁内調整				
	・基本方針案の検討 ・策定			② 基本方針案の検討及び策定	実績	庁内調整				
					計画				基本方針案の検討	基本方針案の策定
	目標効果額 実績効果額			③	実績	基本方針案の検討			基本方針案の策定	基本方針の策定
					計画					
	検討後に設定			④	計画					
					実績					
	進捗評価点 目標評価点			⑤	計画					
					実績					
12 / 12	-	振り返り		方針策定により目標達成。今後は方針に基づき担当課が適宜対応。	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	
				コメント	第2四半期については前倒しで「基本方針案の検討」を実施。引き続き計画的に推進すること			予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0